

ポスター展（図3）や、フランス企業のリストを掲載してフランス製品のボイコットを訴えるページなどが登場。インターネットによってさまざまな形での国際的な「草の根運動」が展開された。地球市民という意識の形成に果たすインターネットの可能性を示した動きとして注目される。

（編集部）

沖縄の基地をめぐる住民運動

1995年9月4日、沖縄で起こった米兵による少女乱暴事件によって浮き彫りにされた沖縄の米軍基地問題は、村山総理が沖縄県知事を提訴するなど、日本の国政を揺るがす大きな問題となった。地元の新聞である琉球新報と沖縄タイムスが事件を報道後、県内のマスコミでは96年2月現在でも途切れることなく一連の事件についての報道を行っている。「米兵3人による婦女暴行事件に抗議する会」の代表として活動をしている砂川孝児さんは9月9日にテレビ報道で事件を知り、9月12日には友人とともに抗議のためメーリングリスト（marine-ml-request@mb.inforukyu.or.jp）を開設した（表1）。

事件を知ってから何か自分でもできることはないかと考えたという砂川さんは「商用プロバイダーが県内にでき、日頃の業務でも使っていたので、インターネット上で抗議活動を行うことは自分にとって自然な行きであった。インターネットが使える環境でなければ、ここまで具体的に活動することはなかっただろう」と、語っている。

9月13日にはホームページ（<http://www.inforukyu.or.jp/~koj/rape/>）を開設（図1）。18日からは抗議のための署名集めを行い、最終的には3,230名の署名を米国大統領へ提出した。1995年6月からホームページを開設している沖縄県庁でも、今回の事件については県の抗議要請文を9月22日に掲載するなどの抗議を行っている（図2）。

折からのインターネットブームもあって砂川さんの活動は県内でも注目を集め、県内の新聞やテレビなどでも大きく取り上げられた。また、メーリングリストやNetNewsを通じて本土の多くの人々に沖縄県の実情を知らしめるきっかけもなった。今では「<http://www.inforukyu.or.jp/~sigaiti/>」「<http://www.well.com/user/nobumasa/>」など、基地問題を掲載したホームページがいくつもできている。

（瑞慶覧 辰）

1995年 9月12日	開設
9月14日	100
9月30日	500
10月26日	1,000
1996年 1月22日	2,000

表1 marine-mlの総トラフィック数

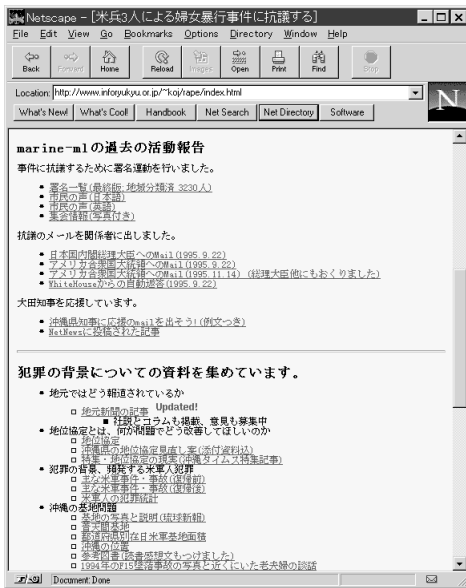


図1 砂川氏による沖縄基地問題に関するホームページ

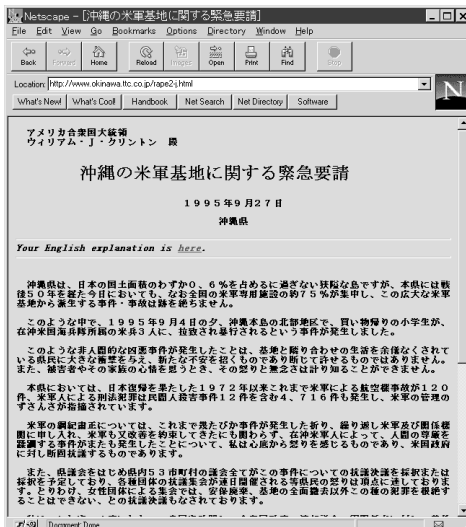


図2 米国基地に対する沖縄県の抗議要請文



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp